

評価軸①-1

組織体制

項目		評価対象年度	令和5年度
計画の実施に向けた推進体制			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本計画の推進、実施にあたっては、甲州市教育委員会生涯学習課に事務局を置き、庁内関係各課で連携を取りながら連絡調整を行い、国や県との関係機関と協議して適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条に基づく「甲州市歴史的風致維持向上協議会」において、計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
教育委員会生涯学習課文化財担当が中心となって、関係各課との連絡調整を図り各事業の推進について検討した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		各事業の細部のすり合わせについて、今後も担当事業課との協議と連携を密に行い調整する。	
状況を示す写真や資料等			
甲州市文化財審議会 甲州市都市計画審議会 甲州市景観審議会 甲州市伝統的建造物群保存地区保存審 国・県 甲州市総合計画 甲州市都市計画マスタープラン 庁内における進行管理、調整体制 庁議 市長・副市長・教育長・会計管理者・議会議務局・政策秘書課長・総務課長・財務経営課長・各支所長及び各部門の代表 総務文教部門 厚生経済部門 連絡調整 歴史まちづくり庁内WG (担当者会議) 法定協議会 甲州市 歴史的風致維持向上協議会 ・学識経験者、団体等 ・地域の代表者 ・行政機関(甲州市) 文化財の所有者等 事務局 (教育委員会生涯学習課) 報告 提案 意見等 連絡調整 評価の改善の報告 (助言、指導等) 計画の提案 実施報告等 歴史まちづくり庁内WG 甲州市歴史的風致維持向上協議会 ○令和5年度は実施なし。 歴史まちづくり庁内WG ○令和5年度は実施なし。			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
甲州市景観計画との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	本市の景観計画は、市民生活や産業構造の変化に対する景観的課題の顕在化に対応し、本市の景観政策の充実と向上を図ることにより、本市固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できる「果樹園と歴史・文化が織りなす魅力あふれる美しいまち」を実現することを目的として、市域全体を対象として策定しており、景観形成のため6つのゾーン区分を設定して、それぞれのゾーンにおける景観形成の方向性を定めている。また、景観形成重点地区に設定されている地区はまだないが、候補地の多くが甲州市の歴史的風致と重なり、あるいは関係性があるため、事業展開に併せ景観行政と連携し、歴史的風致の維持向上に努めると共に、屋外広告物の制限についても、甲州市独自の屋外広告物条例の設置に努めていく。
-------------	---

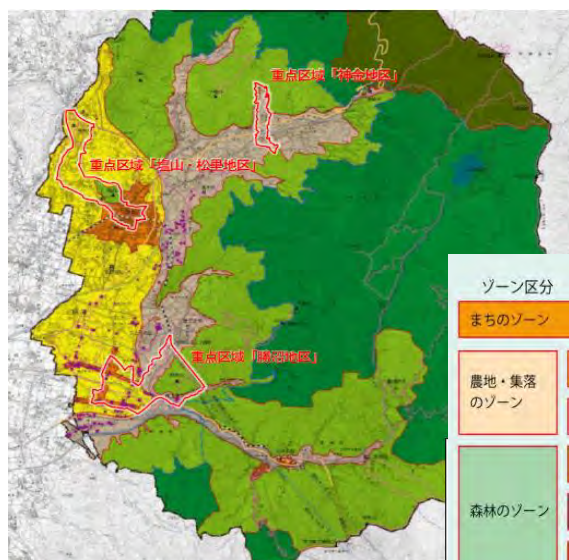
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、景観計画に基づく「届出対象行為」に該当する全ての建築・工作物について「甲州市色彩景観づくりの手引き」により色彩の制限を設けた。これにより事業者に対し景観への色彩基準や誘導基準による色の選び方や使い方などの啓発を行い、新築または建て替え物件についてはほぼ100%の理解を得ている。また色彩による景観形成の一環として、本市に数多く点在する果樹園に使用する防風ネット等の資材に対し「甲州市自然色ネット等資材購入補助金交付要綱」を定め、自然色の資材を購入する者に3万円を上限とした(補助率50%)補助事業を実施している。

(令和5年度実績: 7件 市補助金額 109,000円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■「甲州市景観計画」に掲げたゾーン区分

甲州市景観形成ゾーン区分

ゾーン区分	詳細区分	ゾーンの特徴
まちのゾーン		都市機能や住宅が集積している区域
農地・集落のゾーン	平地農地・集落ゾーン	盆地の平坦部に立地する農地とそこにある集落
	里山農地・集落ゾーン	山裾や小丘の傾斜地に立地する農地とそこにある集落
森林のゾーン	里山森林ゾーン	集落に近く市民のレクリエーションの場になる小丘や山林
	山岳森林ゾーン	集落から離れた自然豊かな山林
	自然公園ゾーン	自然公園法により規制のある区域

汎用的なブルーの防風ネット



補助対象となる自然色の防風ネット



評価軸③-1

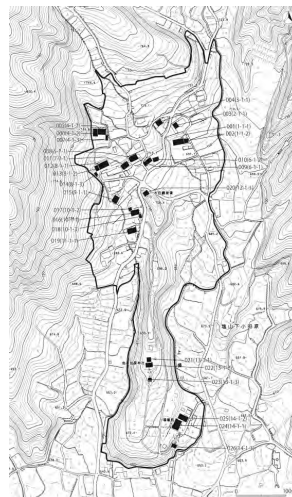
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金		
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区の歴史的建造物の保存・活用を図るため、建造物等の買上げや修理・修景などを行い、歴史的景観の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物(特定物件)1件の保存のため修理修景工事に着手した。完成は令和6年度を予定している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物(特定物件)としては、初めての修理修景工事のため、所有者と密に進捗状況を確認しながら、工事を進める。	
状況を示す写真や資料等			

甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区



【上条集落 眺望】



【歴史的建造物(特定物件)】



【床掘状況確認・解体調査】

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
旧宮崎葡萄酒醸造所(宮光園)保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成21年度～ 令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 甲州市近代産業遺産「宮光園」について、これまで主屋、白蔵、離座敷などの修理を終えているが、東三番蔵など未修理の附属屋が残るため、保存修理を行い屋敷構えを整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宮光園の保存・修理事業については、主屋、白蔵、文庫蔵・道具蔵・離れ座敷、庭園等の事業が平成27年度までに完成しているが、東三番蔵などの未修理の附属屋が残っており、これらの修理工法や敷地の活用方法など方向性について検討を行っている。令和5年度については、外壁の水切り及び瓦面戸漆喰などにき損部分の修繕を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

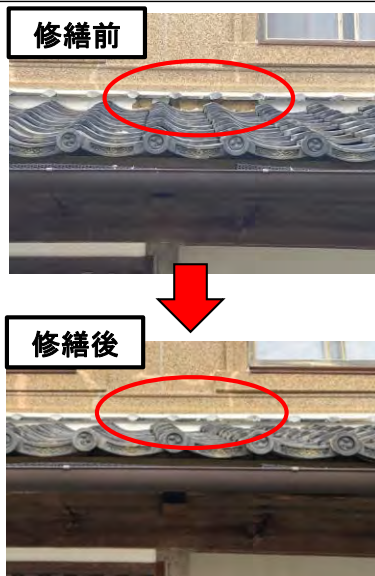
宮光園の整備後、数年が経過しているため、所々修繕を必要とする箇所が見受けられるようになっている。敷地内建物の整備計画の方針の見直しを行いながら、現状維持に努めていく。

状況を示す写真や資料等

市指定文化財 宮光園



【宮光園主屋 修繕】
 実施日：令和6年1月
 外壁水切り・瓦面戸漆喰・2階窓廻り修繕



未修理の建物



【 第一醸造所葡萄酒貯蔵庫 】



【 東三番蔵解体跡 】

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
史跡勝沼氏館跡保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～ 令和8年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業)

計画に記載している内容 史跡勝沼氏館跡について、整備完了後の経年劣化による修理必要箇所や、未発掘用地、未買収用地があるため、計画的に再整備を実施するほか、土地の公有化、発掘調査などを実施し整備を行う。

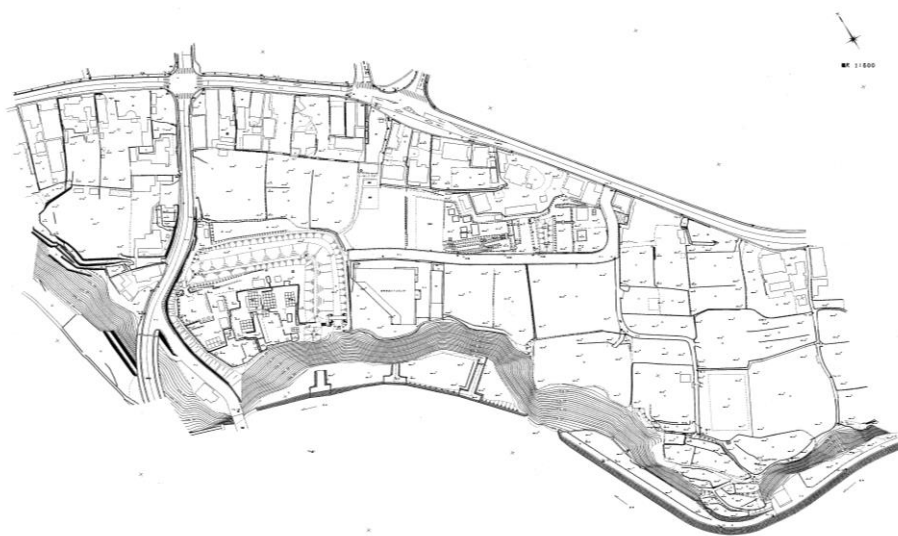
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度においては、国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業)を活用事業実施は行わなかったが、次期整備に向けて、新たな保存活用計画策定の準備を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

国史跡 勝沼氏館跡



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物を指定し、適切な修理・修景を行うことで、公開施設やガイダンス施設として活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
当時の鉄道トンネルの雰囲気味わえる遊歩道として整備された、近代産業遺産「JR中央本線旧大日影トンネル」はレンガの目地痩せや煤の剥離などが確認され、閉鎖されていた。令和5年度、クラウドファンディング等寄付を募り改修工事、リニューアルセレモニーを通じて令和6年3月より再開通した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

大日影トンネル遊歩道



◆近代産業遺産

名称: JR中央本線旧大日影トンネル

◆日本遺産 日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～構成文化財

名称: 旧大日影鉄道隧道・旧深澤鉄道隧道及び周辺の隧道遺構 歩道隧道

◆施設概要

大日影トンネル遊歩道は、中央本線のトンネルとして、明治36年鉄道の開通以来、平成9年までの約100年間にわたり使用されたものを、JR東日本から譲受け、平成18年に遊歩道として整備。(全長1367.8m・幅3.57m～3.74m・

【春を満喫「こうしゅう桜フェスタ」2024 大日影トンネル遊歩道リニューアルセレモニー】

開催日: 令和6年3月24日



大日影トンネルリニューアルオープンを記念して、「勝沼フットパスの会」のガイドのもと、フットパスガイドツアーも同時開催。

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
農業基盤整備促進事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	狭い農作業道の整備を実施し、農業経営の安定や農作業の効率化を図るとともに、担い手への農地利用集積を促進し、生産組織の育成や強化を推進することで、生産量の向上及び安定を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
農業基盤促進事業の中で「農道下岩崎12号線改良工事」を行い、令和2年度着手、令和3年度に完成した。 令和5年度は実施事業はなし。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
甲州市農村ワーキングホリデー事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～ 令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 農業に関心のある人と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける援農制度で、ブドウやモモ、スモモの栽培にかかる作業やコロガキづくりにかかる作業を、受入農家に寝泊りして行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

モモ、スモモ、ブドウ、野菜等の農家の手助けを行い、参加者が自らも作業を通じて農業技術の向上を図る「農村ワーキングホリデー」事業は、令和2年度より受入休止しているが、果樹栽培に係る農作業全般及び地域農業支援が行える人材育成として、「地域おこし協力隊(「アグリトレーニー」)」として3名を受入れた。
また、令和4年度に世界農業遺産として認定された「峡東地域の扇状地に適した果樹農業システム(地域：山梨市・笛吹市・甲州市)」事業として、人材育成及び普及啓発のため各種イベントを実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

地域おこし協力隊『アグリトレーニー』制度を活用した果樹農家の育成

<業務概要>

【主たる業務】 果樹栽培に係る農作業全般と地域農業支援

1. 果樹栽培研修

支援機関が管理するほ場において、ぶどう・桃を中心に年間を通して果樹栽培に必要な作業を実地研修することにより、独立営農に必要な果樹栽培の知識・技術を身に付けます。

2. 地域農業支援

地域農家の作業負担軽減を目的とし支援機関が受託する農作業に従事することにより、地域農家との交流を図ります。

3. 耕作放棄地対策

耕作放棄により荒れた畑は病害虫の温床になります。これを回避するため、支援機関が土地所有者から借り受けほ場として再生する作業に従事します。重機操作や伐根新植などの知識が得られます。

4. その他地域交流

地域の共同選果場等の農業施設の手伝いや地域行事の参加による地域交流で、退任後の就農を支えるネットワークづくりを図ります。

【退任後の進路】

任期を通して得た果実栽培に関する知識・技術とネットワークを基盤に、地域農業の新たな担い手として活躍する。



【世界農業遺産・日本遺産の里 歩こう！勝沼フットパス】

開催日：令和6年3月10日

内 容：ブドウとワインの黎明期・武田勝頼公落去の道・
甲斐源氏の一族岩崎氏の歴史道を「勝沼コンシェルジュの会」会員によるガイドのもと見学した。

※勝沼コンシェルジュの会 主催

勝沼フットパスの会・ある〜くこうしゅう推進協議会 共催

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
於曽屋敷環境整備事業		■実施済 □実施中 □未着手

事業期間 平成30年度～ 令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 於曽屋敷は中世豪族の屋敷跡で、これを公有化し整備するとともに、周辺に駐車場やトイレなどの公益施設を配置し、公園として利活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「甲州市都市公園バリアフリー化に伴う整備事業」として、社会資本整備総合交付金を利用した隣接民地の公有化拡張を行い、平成29年度に多機能トイレ及び駐車場の設置を行った。平成30年度には都市再生整備計画事業として事業化を行い、甘草屋敷・於曽公園を含むJR塩山駅周辺の利便性と交通結節点の機能向上を目的として駅前広場の整備を行い令和4年度に完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
 □計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



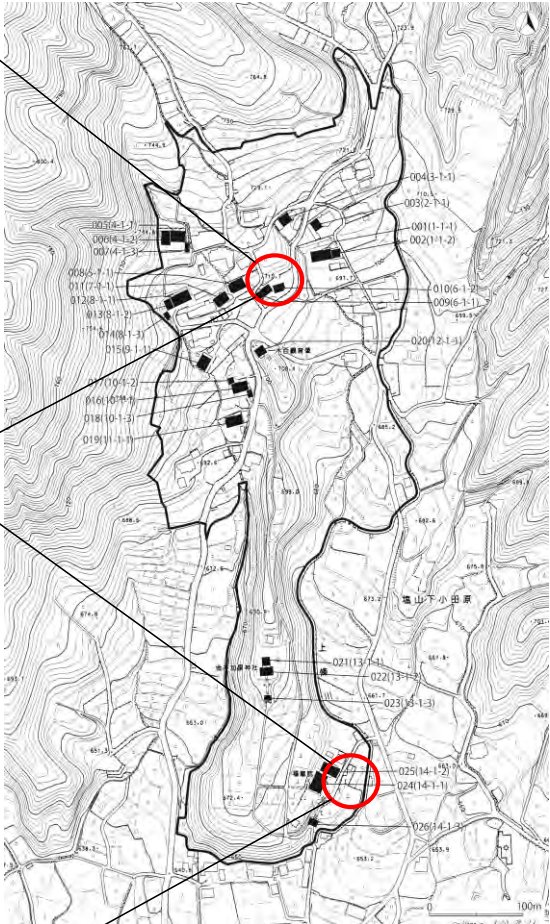
【多機能トイレ及び駐車場整備】平成29年9月完成



【都市再生整備計画事業】令和4年度事業完了

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区環境整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和3年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区について、駐車場やトイレなどの公益施設の整備を行い、地区内の環境を整える。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の寺社・土地所有者の協力のもと、来訪者が利用できるように駐車場を開放するとともに、簡易トイレを設置した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	駐車場やトイレなどの公益施設の整備について、地区内の土地所有者との交渉が難航したが、地区内の住民の協力を得ながら、来訪者を受け入れる環境整備に努める。	
状況を示す写真や資料等		
 【上条地区内 簡易トイレ設置】   【上条地区内 見学者駐車場】		

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
市内伝統芸能・祭典継承事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和3年度(継続中)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内で行われる伝統芸能・祭典などについて、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供するとともに、補助金を交付するなどの支援を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内5つの内4つの団体へ補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。藤木道祖神祭太鼓乗りについては4年ぶりの開催となり、縮小した実施となったものの、多くの観客が集まり、伝統芸能の魅力を伝えた。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		担い手の高齢化等もあり、積極的に魅力ある伝統芸能の継承のため若者に啓発を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

甲州市の継承すべき伝統芸能・祭典



【柏尾の藤切祭 (山梨県指定 無形民俗文化財)】
実施日: 令和5年5月8日



【一之瀬高橋の春駒(山梨県指定 無形民俗文化財)】
実施日: 令和6年1月6日



【田野十二神楽(山梨県指定 無形民俗文化財)】
実施日: 令和6年1月13日



【藤木道祖神祭太鼓乗り(甲州市指定 無形民俗文化財)】
実施日: 令和6年1月14日



【熊野神社御幸行列(甲州市指定 無形民俗文化財)】
令和5年度未実施

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和5年度	
項目	現在の状況
歴史的風致散策・景観形成協働事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成27年度～ 令和3年度(継続中)
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	甲州市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、各歴史的風致の散策会を定期的に開催するほか、散策で気付いた点について、市民などと協働して、農業用ネットの交換やガードレールの景観色塗装など、景観形成協働事業を実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
令和5年度については、日本遺産「日本ワイン140年史～国産ぶどうで醸造する和 문화の結晶～」事業と連携し、勝沼地域2回の散策会を実施し、市内外から集まった参加者に歴史的風致に触れていただいた。また、伝統的建造物群保存地区である「甲州市塩山下小田原上条」においては、景観形成協働事業を実施し、景観改善の機運を醸成することができた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	

歴史的風致散策



【ぶどうの丘周辺の50万年史を歩く散策会】
開催日：令和5年5月20日

山梨県立大学特任教授のガイドのもと、ぶどうの丘周辺の散策会を開催。甲府盆地の台地形成史など、スケールの大きな視点の中で、勝沼地域の地形・地質の成り立ちについて、参加者と学んだ。



【鉄道遺構散策～勝沼編～】
開催日：令和5年11月25日

日本遺産構成文化財でもある、大日影トンネルや深沢トンネルワインカーブ、菱山歩道隧道など、勝沼地域に残る鉄道遺構を巡る散策会を開催。

景観形成協働事業



【上条集落ガードレール塗り】
開催日：令和6年3月9日

伝統的建造物群保存地区である「甲州市塩山下小田原上条」の景観向上のため、白く目立つガードレールを景観配慮色(甲州ブラウン)に塗り替えるイベントを開催。

ボランティア約50名参加

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
文化財の保存又は活用の現状と今後の方針		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市には、令和5年3月時点で国指定文化財29件(うち、国宝3件)、山梨県指定文化財82件、甲州市指定文化財154件の、合計271件の有形・無形の文化財が所在している。 これらの指定文化財は、文化財保護法や山梨県文化財保護条例、甲州市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引き続き保護のための措置を講ずる。その一方で、指定されていない歴史的・文化的価値を有する未指定文化財も数多く所在し、本市の歴史的風致の維持向上を図るうえでも、これらの未指定文化財も保存・活用を図ることが重要である。 文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解するうえで必要不可欠なものであるため、調査を行い、価値が判明したものについては市指定や国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備や防災対策等を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市内に点在する文化財について、現状の調査・再点検等を行い、文化財価値の向上と保存、維持の方針を検討した。令和5年度は重点区域内での修理・整備事業はなし。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和5年度は重点区域内での修理・整備始業はなかったが、市内に点在する文化財の現状から優先順位をつけて、計画的に修理・整備事業を実施できるように関係部局との調整を進めていく。	
状況を示す写真や資料等		

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	本市には多くの有形・無形の文化財が所在しており、指定・登録件数は山梨県一である。これら文化財の保存・活用を図りながら展示できる施設や、文化財について総合的な情報発信拠点施設の検討が必要である。当該施設としては、重要文化財旧高野家住宅、甲州市近代産業遺産宮光園、旧田中銀行博物館、ぶどうの国文化館があり、それぞれの施設の特性を尊重しながら、活用や情報発信に努めているところである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市が管理する文化財施設については、情報発信の手段として音楽、芸術、民芸等とのコラボレーションにより集客を行いつつ、外部の人々への情報発信や地元住民への文化財の価値の認識や保存に対する啓発を行った。また旧高野家住宅においては、敷地内の文庫蔵を利用した子ども図書館(塩山図書館分館)を開館しており、地域住民に親しみやすい文化財として活用をされている。 また、令和5年度は第22回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり(展示会場:旧高野家住宅 他9カ所)や五月飾り展、演奏会などを開催し、より広く文化財の活用ができるよう図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

状況を示す写真や資料等

重要文化財 旧高野家住宅(甘草屋敷)



【第22回甲州市塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】

甘草屋敷 雛飾り(令和6年2月11日～4月18日)

甘草屋敷おもてなし演奏会(令和6年2月11日) 他

甘草屋敷 五月飾り展(令和5年5月1日～5月30日)

市指定文化財 宮光園



【第22回甲州市塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】

宮光園雛飾り(令和6年2月11日～4月18日)

宮光園コンサート(令和6年2月24日)

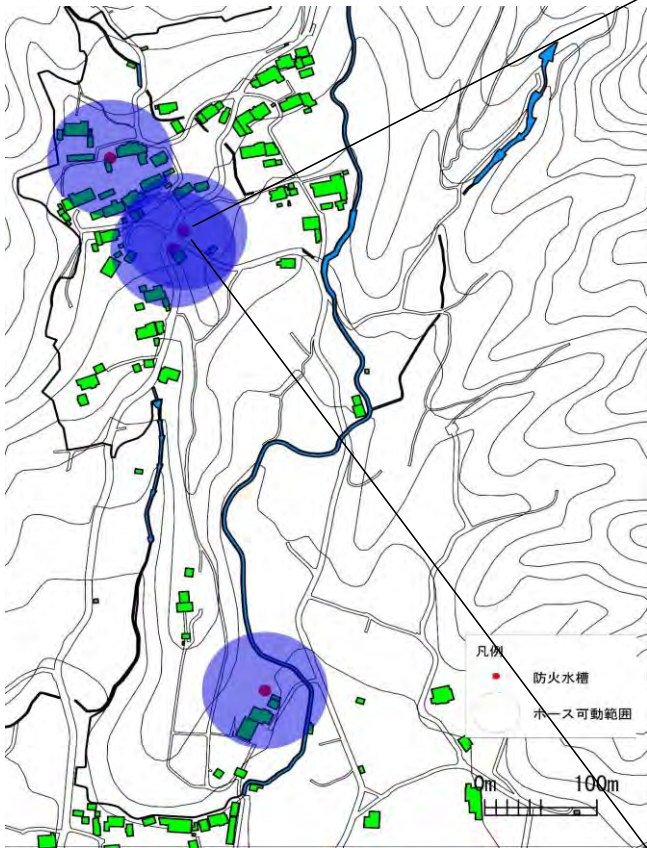
評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	重点区域「勝沼地区」では、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」について文化的景観の調査を行うとともに、山梨県及び山梨市・笛吹市と共同で取り組んでいる「峡東三市による日本農業遺産・世界農業遺産登録」により、ブドウ畑の景観を残すこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」をテーマに、山梨県内初の国の重要文化的景観の選定を目指した取り組みを行っている。令和2年度、平成28年度から30年度までの調査結果をもとに、保存活用計画の検討を行い保存活用計画策定事業報告書(案)を作成した。令和4年度は文化庁からの指導を受けながら、修正を行ったが、関係部局との調整が不十分な箇所があるため、引き続き、協議を進めていく。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 【勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観】 甲府盆地に広がるブドウ畑 緩やかに日川が下り、甲州街道が通る  【勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観 調査報告書】 発行日:平成31年3月31日 発行:甲州市/甲州市教育委員会  【世界農業遺産 峡東地域の扇状地に適した果樹農業システム】 認定:令和4年7月 地域:山梨市・笛吹市・甲州市			

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目	現在の状況	
文化財の防災に関する具体的な計画	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	重点区域「神金地区」にある甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物の多くは木造であり、傾斜地を造成して宅地としていることから、地震や火災が発生すると倒壊や火災の延焼などにより、被害が保存地区の広い範囲に及ぶことが予想される。そのため、所有者や上条組、地元消防団などと協議を行い、自主防災組織を強化するとともに、令和4年度策定した防災計画に基づき、必要な防災施設の整備等を実施する。また、所有者等と協議して、個々の伝統的建造物に対して耐震補強を行うなどの取り組みを行う。さらに、歴史的景観に配慮しつつ防犯灯を整備し、防犯対策や美術工芸品等の有形文化財が盗難に遭わないよう、地区の意識啓発に努めていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成28年度から29年度にわたり、防災計画策定に向けての現地調査を工学院大学に委託し実施し、調査結果の取りまとめ状況を甲州市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催して報告、審議を行ってきた。令和4年度に「防災計画」を策定し、令和5年度は伝建地区内に新たに初期消火用の小型ポンプを設置した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も「防災計画」に基づき、住民の生命、身体及び財産を災害から保護し、甲州市伝統的建造物群保存地区固有の歴史的な景観を活かしたまちづくりを推進していく。	
状況を示す写真や資料等		
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区 消防水利現状図  凡例 ● 防火水槽 ○ ホース可動範囲 0m 100m  【新規消火設備】 初期消火用の小型ポンプの導入  【既存の消火設備】		

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
甲州で武田勝頼公まつり出陣絵巻4年ぶり	令和5年4月24日	山梨日日新聞(朝刊)
「大蛇退治」開運願う 甲州で藤切り祭	令和5年5月9日	山梨日日新聞(朝刊)
勝沼中2年生ジベ処理体験	令和5年5月17日	山梨日日新聞(朝刊)
伝統の「春駒」華やか 保存会 県立博物館で披露	令和6年1月7日	山梨日日新聞(朝刊)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市が歴史的風致維持向上計画の策定により、歴まち都市に認定されたことによって市民の歴史的風致を活かしたまちづくりへの関心が向上した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	今後の引き続き、歴史的風致理解を深める関心を高めるためメディアへの情報提供や独自の情報発信を推進する。

状況を示す写真や資料等



【山梨日日新聞 令和5年4月24日掲載】



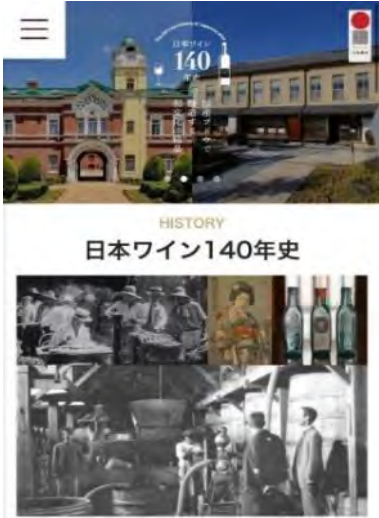
【山梨日日新聞 令和5年5月17日掲載】



【山梨日日新聞 令和5年5月9日掲載】



【山梨日日新聞 令和6年1月7日掲載】

項目		評価対象年度	令和5年度
歴史的風致に対する認識向上と情報発信に関する課題			
計画に記載している内容	本市の維持向上すべき歴史的風致は、本市の特徴を遺憾なく発揮した固有の資源であり、これを維持向上するのは、歴史や文化、伝統を今後のまちづくりに活かそうとする市のアイデンティティの確立のためであると同時に、観光資源としてより多くの交流人口を増やす施策のためでもある。市民だけでなく、市の内外に広く発信し多くの見学者を招き入れることで、本市固有の歴史的風致が認識され、維持向上しようとする意識の高揚につながるものとする。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付 文化財全般については、甲州市ホームページ及び文化財Facebookにて随時情報発信をすることに努めた。また、日本遺産「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和 문화の結晶～」事業として、ホームページ及びFacebookを活用した情報発信を積極的に行っている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	今後も積極的にSNS(ホームページ・Facebook等)を活用した情報発信を続けていきたいと考えている。		
状況を示す写真や資料等			
 【ホームページ】 甲州市		 【日本遺産ホームページ】 日本ワイン140年史	
 【Facebook】 甲州市の文化財		 【Facebook】 ワイン文化日本遺産協議会	